

日本商工会議所青年部

令和2年度日本ネットワーク委員会415事業

日本YEG都道府県別415単会会長とのWEB懇談会

議事録

開催日	令和2年6月27日	時間	15:00~16:30
連合会名	中地区	東海ブロック	三重県連
出席単会名	鳥羽、上野、松阪、津、亀山、桑名、四日市、鈴鹿、名張、熊野、尾鷲、伊勢		
出席者数	35名		
	鳥羽 岡村会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会を中止し、理事だけで承認をとった</li> <li>・例会開催義務の規約を条件的改正した</li> <li>・現在事業はすべて中止とした</li> <li>・事業再開時期は、最短でも10月だが現時点で未定</li> <li>・再開後の事業は、アフターコロナを中心としたい</li> <li>・親会が事業を再開したからといって、事業参画が難しい</li> <li>・今はYEG活動よりも自企業を優先してほしい</li> </ul>	
	上野 西出会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会は7月まで開催中止</li> <li>・例会は10月に再開予定</li> <li>・再開後の例会は委員長のやりたいことをやってもらう</li> </ul>	
	松阪 和田会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ATでの臨時総会して、役員会はZOOMで実施</li> <li>・月1回の例会開催の規約を改正し、7月まで例会を自粛</li> <li>・自粛している間はオンライン意見交換会の事業開催</li> <li>・7月は広い会場でZOOM併用の事業を開催</li> <li>・7月からは役員会も広い会場でZOOM併用</li> <li>・8月からは例会開催するが、当面はZOOM併用</li> <li>・30周年だが、現役&amp;OBのみ実施予定</li> </ul>	
	津 別所会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合形式の活動は自粛している</li> <li>・役員会と正副会議はZOOMを使って継続している</li> <li>・4月と5月例会は中止</li> <li>・津市と連携の津祭りや七夕祭り（7月例会）は中止</li> <li>・ジュニアエコノミーカレッジも中止</li> <li>・5月末の正副会議を集合形式で実施</li> <li>・役員会も6月からは集合形式で開催</li> <li>・6月16日にはZOOMで講師例会も実施</li> <li>・8月以降は状況を見ながら、例会開催していく予定</li> <li>・35周年を7月に開催予定だったが、1~2月へ延期</li> </ul>	
	亀山 清水会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿花火大会や、職業体験のカメジヨブキッズは中止</li> <li>・30周年記念事業を11月に開催予定だったが中止とした</li> <li>・9月9日までは活動中止</li> <li>・例会は奇数月に開催しており、1月から再開予定</li> </ul>	

貴単会が行っている  
主な事業  
(継続・単年)

<p>桑名 西田会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月の総会はAT審議で実施</li> <li>・ 5月まで役員会を中止し、随時ATで協議審議を行う</li> <li>・ コロナがなければという前提で事業計画をしていた → 6月23日に交流事業を開催</li> <li>・ 6月から委員会など3密を避けて対面で開催</li> <li>・ 研修事業も開催予定だったが、相手先のこともあり中止</li> <li>・ 全体事業としてハロウィンなどのイベントも中止</li> <li>・ この予算を小学校の水栓の蛇口をレバー式に変える事業 会員メンバーが小学校を回って取り替えに行く</li> </ul>
<p>四日市 宮崎会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員会も事業もすべて活動を自粛</li> <li>・ 6月の総会は書面決議</li> <li>・ 6月から正副の活動を再開し、今後を検討している</li> <li>・ 活動再開時期や事業内容も白紙の状態</li> </ul>
<p>鈴鹿 松林会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月は総会をWEBで開催し、5月6月は例会を中止</li> <li>・ 委員会などはZOOMで実施し、7月から対面で再開予定</li> <li>・ 10月から事業再開し、卒業生も呼んで実施したい</li> <li>・ メンバーの士気向上のため、9月に交流事業を予定</li> <li>・ GW空けに企画書を持って市長へ提言し「鈴鹿まるごと 援券」という事業が開始。市から2億3000万円の予算でプ レミアム率50%のプレミアム商品券を発券。飲食業に限ら ず、市内のいろんなところで使える商品券となった。</li> </ul>
<p>名張 玖村会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月22日に役員会を実施</li> <li>・ 1月に40周年記念式典を予定しているが、開催検討中</li> <li>・ 卒業式をかねた定例会を開催予定</li> <li>・ 市から3000万の予算をつけてもらい、親会共同で飲食店 観光地応援のプレミアム商品券を販売。5000円分を3000円 で購入でき、限定15000セットが完売。</li> </ul>
<p>熊野 野地会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月総会を書面決議</li> <li>・ 祭りへの参画がメインだったが、ほぼ中止となった</li> <li>・ 人口の割にイベントは多い地域だったがほとんど中止に</li> <li>・ 会員と会う機会がなくなり、再開時期も未定</li> </ul>
<p>尾鷲 中瀬会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月総会はWEBで開催</li> <li>・ 5月はWEBを併用しながら対面で役員会開催</li> <li>・ 6月は委員会もWEBを併用して開催</li> <li>・ 毎年実施していた尾鷲マルシェは中止となった</li> <li>・ 7月に地元金融機関を講師としたWEB講師例会を開催</li> <li>・ 今期は力を蓄える事業として次年度へつなげる</li> <li>・ 特産の尾鷲ヒノキを使ったコロナ対策商品を開発</li> </ul>
<p>伊勢 島田会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月5月は対面式の活動は禁止</li> <li>・ 委員会役員会などはZOOMを使って実施</li> <li>・ 6月からは3密を避けた対面式を解禁</li> <li>・ 9月に県連親睦交流会を企画し状況を見ながら開催予定</li> <li>・ 10月予定の職業体験の伊勢っ子サミットは白紙になっ たが、何か違うことができないか模索中。返礼に会員の商品 など取り入れたCFで花火を上げる案を検討。</li> </ul>
<p>鈴木 県連会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月総会役員会はWEBで実施し、7月もWEBで開催予定</li> <li>・ 9月の会員交流事業は集まって予定</li> <li>・ 9月には役員会と懇親会も実施する</li> </ul>

米良会長、全国の 単会会長と共有した い 問題、悩みなど	<p>この状況の中、YEG活動をすべきなのか、自企業に専念してもらいたいのか悩む。日本YEGはどのように考えているか参考にしたい</p> <p>↓</p> <p>鳥羽 岡村会長</p> <p>米良会長 回答 日本YEGとしては、次年度につなぐことを一番に考えている。コロナの影響を次年度に残さないよう、なるべく動くようにしている。選択肢の幅を狭めずに、単会でしっかり話して決めていただくのが一番いい。</p>
	<p>県連大会を2月に開催を予定だが、どんな規模でやるべきなのかが難しい。</p> <p>↓</p> <p>鈴木 県連会長</p> <p>米良会長 回答 WEBで開催予定のところもあれば、通常通り開催する予定のところもある。規模感を大事にするなら日付をずらしており、日付を大事にするなら規模縮小しているところが多い。</p>
	<p>次年度の人事・代表理事について。県連会長と代表理事は同一人物が望ましいとされるが、そうになるとやる人がいないので、三重県連としては今後も別々でお願いしたい。</p> <p>↓</p> <p>鈴木 県連会長</p> <p>米良会長 回答 各県連ごとに事情があると思うので、別々でも問題ない。</p>
今後数年以内に予定している各種大会等 (名称・時期等)	
その他質問・要望等	